



平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月2日

上場会社名 株式会社ダイセル

上場取引所 東大

コード番号 4202 URL <http://www.daicel.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 札幌 操

問合せ先責任者 (役職名) IR広報グループリーダー (氏名) 畑 理史

四半期報告書提出予定日 平成24年2月14日

TEL 03-6711-8121

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	255,160	△5.0	17,193	△39.1	17,876	△33.5	9,968	△14.4
23年3月期第3四半期	268,543	16.3	28,230	96.7	26,872	90.8	11,639	38.6

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 4,656百万円 (△55.6%) 23年3月期第3四半期 10,481百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	28.16	—
23年3月期第3四半期	32.71	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	401,071	234,373	52.7
23年3月期	411,071	235,336	51.6

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 211,303百万円 23年3月期 212,052百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	4.00	—	6.00	10.00
24年3月期	—	5.00	—		
24年3月期(予想)				5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	352,000	△0.5	23,000	△29.7	23,000	△27.1	13,500	△19.7	38.38

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期3Q	364,942,682 株	23年3月期	364,942,682 株
② 期末自己株式数	24年3月期3Q	13,200,019 株	23年3月期	9,185,807 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期3Q	354,056,096 株	23年3月期3Q	355,837,115 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きを実施しています。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

連結業績予想は、現時点で入手された情報に基づき判断したものであり、実際の業績は様々な要因により、これらの業績予想とは異なることがありうることをご承知おきください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間のわが国経済は、東日本大震災により景気全般が大きな影響を受けましたが、第2四半期以降、生産活動の回復が進み、景気にも緩やかな持ち直しの動きが見えるなかで推移いたしました。しかし、電力供給の制約や原子力災害の影響、海外景気の下振れ懸念が継続し、1ドル70円台の円高も第2・第3四半期にかけて定着するなど、引き続き予断を許さない状況が続きました。

このような環境の中、当第3四半期連結累計期間の当社グループの売上高は、販売数量の減少と円高により、2,551億60百万円（前年同期比5.0%減）となりました。利益面では、原燃料価格の上昇や販売数量減少に伴う設備稼働率の低下などにより、営業利益は171億93百万円（前年同期比39.1%減）、経常利益は178億76百万円（前年同期比33.5%減）、四半期純利益は99億68百万円（前年同期比14.4%減）となりました。

なお、特別損失として、災害による損失4億34百万円を計上しております。その主な内容は、東日本大震災により自動車エアバッグ用インフレーター事業が通常の操業度を著しく下回ったことに伴う期間中の固定費などです。

セグメント別の状況は次のとおりです。

[セルロース事業部門]

酢酸セルロースは、主に液晶表示向けフィルム用途の需要が、液晶パネルの流通在庫調整の影響を受け、売上高は減少いたしました。

たばこフィルター用トウは、海外向けの販売は好調に推移しましたが、平成22年10月の国内たばこ増税及び円高の影響を受け、売上高は減少いたしました。

当部門の売上高は、531億17百万円（前年同期比9.3%減）、営業利益は、円高や原燃料価格の高騰などにより、53億86百万円（前年同期比48.4%減）となりました。

[有機合成事業部門]

主力製品の酢酸は、主要用途である高純度テレフタル酸（PTA）向けを中心に堅調に推移していた需要が秋以降停滞し、また当社姫路製造所網干工場の2年に1度の定期修繕を実施したことも影響して、売上高は減少いたしました。

酢酸誘導体及び各種溶剤類などの汎用品は、酢酸エチルの販売は堅調に推移しましたが、円高の影響を受け、売上高はほぼ横這いとなりました。

カプロラクトン誘導体やエポキシ化合物、半導体レジスト材料などの機能品は、国内外での電子材料市場の調整や円高の影響を受けたこともあり、売上高は微減となりました。

光学異性体分離カラムなどのキラルケミカル（光学活性体）事業は、中国、インドを始めとした海外向けの販売が好調を継続し、売上高は増加いたしました。

当部門の売上高は、579億60百万円（前年同期比3.8%減）、営業利益は、原燃料価格の高騰などにより、48億53百万円（前年同期比3.4%減）となりました。

[合成樹脂事業部門]

ポリアセタール樹脂、PBT樹脂、液晶ポリマーなどのエンジニアリングプラスチックは、12月決算会社である連結子会社ポリプラスチック株式会社を中心とした企業群が事業を行っております。当第3四半期連結累計期間にあたる平成23年1～9月においては、国内を中心に震災の影響を大きく受け、売上高は減少いたしました。

AS・ABS樹脂、エンブラアロイ樹脂を中心とした樹脂コンパウンド事業は、自動車向けなどで震災の影響を受けましたが、一部製品での復興需要もあり、売上高は増加いたしました。

シート、成形容器、フィルムなどの樹脂加工事業は、国内の食品向け需要が低迷しましたが、一部フィルム製品に震災による需要増もあり、売上高は横這いとなりました。

当部門の売上高は、1,013億2百万円（前年同期比2.8%減）、営業利益は、円高や原燃料価格の高騰などにより、90億91百万円（前年同期比27.6%減）となりました。

[火工品事業部門]

自動車エアバッグ用インフレーター（ガス発生器）及びシートベルト・プリテンショナー用ガス発生器（PGG）は、第2四半期以降の自動車生産の回復に伴い販売数量は持ち直しましたが、第1四半期の震災による影響が大きく、売上高は減少いたしました。

発射薬、ミサイル構成部品、航空機搭乗員緊急脱出装置関連製品などの特機事業は、一部製品の防衛省による調達数量減少により、売上高は減少いたしました。

当部門の売上高は、382億65百万円（前年同期比6.7%減）、営業利益は、円高や震災による販売数量の減少に伴う設備稼働率の低下などが影響し、35億10百万円（前年同期比26.7%減）となりました。

[その他部門]

水処理用分離膜モジュールなどのメンブレン事業は、透析用装置や空調機などの室外機用散水装置が好調に推移し、売上高は増加いたしました。

その他、運輸倉庫業などの売上高は減少いたしました。

当部門の売上高は、45億14百万円（前年同期比1.2%減）、営業利益は、6億1百万円（前年同期比36.8%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債および純資産の状況

総資産は、受取手形及び売掛金、たな卸資産は増加しましたが、有価証券、有形固定資産の減少及び投資有価証券の時価評価額の減少などにより、前連結会計年度末に比し99億99百万円減少し4,010億71百万円となりました。

負債は、主に長期借入金の返済により前連結会計年度末に比し90億36百万円減少し、1,666億97百万円となりました。

また純資産は、2,343億73百万円となりました。純資産から少数株主持分を引いた自己資本は、2,113億3百万円となり自己資本比率は52.7%となりました。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、従来、連結子会社のうち決算日が12月31日であった以下の会社については、同日現在の財務諸表を利用し、連結決算日との間に生じた重要な取引について必要な調整を行っておりましたが、第1四半期連結会計期間より決算日を3月31日に変更しております。

Daicel Safety Systems America, LLC

Daicel Safety Technologies America, Inc.

Daicel Safety Systems (Thailand) Co., Ltd.

Daicel Safety Technologies (Thailand) Co., Ltd.

Daicel (U.S.A.), Inc.

また、従来、連結子会社のうち決算日が12月31日である以下の会社については、同日現在の財務諸表を利用し、連結決算日との間に生じた重要な取引について必要な調整を行っておりましたが、第1四半期連結会計期間より連結決算日現在で実施した仮決算に基づく財務諸表を使用する方法に変更しております。

Daicel Safety Systems Europe Sp. z o. o.

Daicel Safety Systems (Jiangsu) Co., Ltd.

(2) 追加情報

会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	34,140	36,388
受取手形及び売掛金	70,628	75,435
有価証券	9,935	2,630
たな卸資産	70,503	75,958
その他	12,757	11,968
貸倒引当金	△56	△63
流動資産合計	197,908	202,317
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	47,113	43,954
機械装置及び運搬具(純額)	69,956	57,746
土地	26,543	26,453
建設仮勘定	4,734	9,743
その他(純額)	2,339	2,127
有形固定資産合計	150,689	140,024
無形固定資産	2,799	2,455
投資その他の資産		
投資有価証券	45,828	39,949
その他	13,991	16,471
貸倒引当金	△145	△147
投資その他の資産合計	59,673	56,273
固定資産合計	213,162	198,753
資産合計	411,071	401,071
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	44,991	48,100
短期借入金	9,815	11,119
1年内返済予定の長期借入金	12,806	13,689
未払法人税等	3,710	1,760
修繕引当金	3,332	1,031
その他	16,089	16,661
流動負債合計	90,745	92,362
固定負債		
社債	30,000	30,000
長期借入金	41,592	31,077
退職給付引当金	9,428	10,091
役員退職慰労引当金	54	54
修繕引当金	70	721
資産除去債務	1,039	1,033
その他	2,803	1,358
固定負債合計	84,988	74,335
負債合計	175,734	166,697

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	36,275	36,275
資本剰余金	31,579	31,579
利益剰余金	143,813	150,999
自己株式	△4,195	△6,010
株主資本合計	207,472	212,843
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	12,516	8,449
繰延ヘッジ損益	△153	△102
為替換算調整勘定	△7,783	△9,887
その他の包括利益累計額合計	4,579	△1,540
少数株主持分	23,284	23,070
純資産合計	235,336	234,373
負債純資産合計	411,071	401,071

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	268,543	255,160
売上原価	202,505	200,232
売上総利益	66,038	54,928
販売費及び一般管理費	37,808	37,734
営業利益	28,230	17,193
営業外収益		
受取利息	143	210
受取配当金	815	1,067
持分法による投資利益	1,031	1,095
その他	637	822
営業外収益合計	2,628	3,195
営業外費用		
支払利息	1,369	1,124
為替差損	1,570	812
その他	1,045	576
営業外費用合計	3,985	2,513
経常利益	26,872	17,876
特別利益		
固定資産処分益	6	8
投資有価証券売却益	16	—
関係会社株式売却益	382	239
関係会社清算益	—	821
補助金収入	—	1,000
特別利益合計	405	2,069
特別損失		
固定資産除却損	317	631
減損損失	74	374
固定資産圧縮損	—	911
投資有価証券評価損	360	69
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	831	—
災害による損失	—	434
特別損失合計	1,583	2,422
税金等調整前四半期純利益	25,695	17,523
法人税、住民税及び事業税	5,137	3,826
過年度法人税等	1,540	—
法人税等調整額	3,902	1,462
法人税等合計	10,581	5,289
少数株主損益調整前四半期純利益	15,114	12,233
少数株主利益	3,474	2,265
四半期純利益	11,639	9,968

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	15,114	12,233
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,512	△4,105
繰延ヘッジ損益	5	23
為替換算調整勘定	△1,841	△3,443
持分法適用会社に対する持分相当額	△284	△51
その他の包括利益合計	△4,632	△7,577
四半期包括利益	10,481	4,656
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	7,624	3,428
少数株主に係る四半期包括利益	2,857	1,227

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	セルロー ス事業	有機合 成事業	合成樹脂 事業	火工品事 業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	58,560	60,240	104,176	40,995	263,973	4,570	268,543	—	268,543
セグメント間の内部売上高又は振替高	2,113	10,554	10	—	12,678	7,512	20,190	△20,190	—
計	60,673	70,795	104,186	40,995	276,651	12,082	288,734	△20,190	268,543
セグメント利益	10,441	5,026	12,556	4,789	32,813	951	33,765	△5,534	28,230

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、メンブレン事業及び運輸倉庫業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△5,534百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない提出会社における基礎研究及び管理部門等に係る費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	セルロー ス事業	有機合 成事業	合成樹脂 事業	火工品事 業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	53,117	57,960	101,302	38,265	250,645	4,514	255,160	—	255,160
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,942	11,245	7	—	13,195	7,207	20,402	△20,402	—
計	55,059	69,206	101,310	38,265	263,841	11,722	275,563	△20,402	255,160
セグメント利益	5,386	4,853	9,091	3,510	22,841	601	23,443	△6,249	17,193

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、メンブレン事業及び運輸倉庫業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△6,249百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない提出会社における基礎研究及び管理部門等に係る費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。